

◎千九百七十六年の国際コーヒー協定

(略称)一九七六年のコーヒー協定

目次

ページ

前文.....九七五

第一章 目的.....九七五

第一条 目的.....九七六

第二条 加盟国による一般的約束.....九七六

第一章 定義.....九七七

第三条 定義.....九七七

第二章 加盟国.....九八〇

一九七六年のコーヒー協定

九六九

昭和五十年十二月三日 ロンドンで作成

昭和五十一年十月一日 効力発生(我が国は同日より暫定的に適用)

昭和五十一年七月二十七日 署名

昭和五十一年十一月四日 国会承認

昭和五十一年十一月十九日 受諾の閣議決定

昭和五十一年十二月十日 受諾書の寄託

昭和五十一年十二月十日 公布及び告示

(条約第一九号及び外務省告示第二七三号)

昭和五十一年十二月十日 我が国について効力発生

第 四 条	機関の加盟国	九八一
第 五 条	指定領域と分離してする加盟	九八一
第 六 条	機関に加盟する際に形式する加盟集団	九八二
第 七 条	機関に加盟した後に形成する加盟集団	九八四
第四章	組織及び運用	九八四
第 八 条	国際コーヒー機関の所在地及び構成	九八四
第 九 条	国際コーヒー理事会の構成	九八五
第 十 条	理事会の権限及び任務	九八五
第 十 一 条	理事会の議長及び副議長の選挙	九八六
第 十 二 条	理事会の会期	九八六
第 十 三 条	票数	九八六
第 十 四 条	理事会の投票手続	九八九
第 十 五 条	理事会の決定	九八九
第 十 六 条	執行委員会の構成	九九〇
第 十 七 条	執行委員会の構成国の選挙	九九一
第 十 八 条	執行委員会の権限	九九二
第 十 九 条	執行委員会の投票手続	九九三
第 二 十 条	理事会及び執行委員会の定足数	九九三

第二十一条	事務局長及び職員	九九四
第二十二条	他の機関との協力	九九四
第五章	特権及び免除	九九五
第二十三条	特権及び免除	九九五
第六章	会計	九九六
第二十四条	会計	九九六
第二十五条	予算の決定及び分担金の額の決定	九九六
第二十六条	分担金の支払	九九七
第二十七条	会計の検査及び公表	九九七
第七章	輸出及び輸入の規制	九九八
第二十八条	一般規定	九九八
第二十九条	輸出割当ての対象となる市場	九九八
第三十条	基本輸出割当て	九九八
第三十一条	基本輸出割当てを受けない加盟輸出国	一〇〇〇
第三十二条	基本輸出割当ての調整に関する規定	一〇〇一
第三十三条	輸出割当ての導入、停止及び再導入に関する規定	一〇〇二
第三十四条	総年間輸出割当ての設定	一〇〇四
第三十五条	年間輸出割当ての配分	一〇〇四

第三十六条	四半期輸出割当て	一〇〇五
第三十七条	年間輸出割当て及び四半期輸出割当ての調整	一〇〇六
第三十八条	価格に関する措置	一〇〇七
第三十九条	輸出割当ての調整に関する追加的措置	一〇〇八
第四十条	輸出割当ての不使用分	一〇〇八
第四十一条	加盟集団の輸出権利数量	一〇〇九
第四十二条	輸出割当ての遵守	一〇〇九
第四十三条	原産地証明書及び再輸出証明書	一〇一〇
第四十四条	輸出割当て使用分に算入しない輸出	一〇一二
第四十五条	輸入人の規制	一〇一二
第八章	その他の経済条項	一〇一四
第四十六条	加工コーヒーに関する措置	一〇一四
第四十七条	消費の振興	一〇一四
第四十八条	消費に対する障害の除去	一〇一六
第四十九条	混合品及び代用品	一〇一八
第五十条	生産政策	一〇一八
第五十一条	コーヒーの在庫に関する政策	一〇一九
第五十二条	取引業者との協議及び協力	一〇一九

第五十三条	情報	一〇二〇
第五十四条	研究	一〇二一
第五十五条	特別基金	一〇二一
第五十六条	免除	一〇二二
第九章 協議、紛争及び苦情		一〇二三
第五十七条	協議	一〇二三
第五十八条	紛争及び苦情	一〇二三
第十章 最終規定		一〇二五
第五十九条	署名	一〇二五
第六十条	批准、受諾又は承認	一〇二五
第六十一条	効力発生	一〇二六
第六十二条	加入	一〇二七
第六十三条	留保	一〇二八
第六十四条	指定領域への適用	一〇二八
第六十五条	自発的脱退	一〇二九
第六十六条	除名	一〇二九
第六十七条	脱退する加盟国又は除名される加盟国の会計上の決済	一〇二九
第六十八条	有効期間及び終了	一〇三〇

第六十九条 改正	一〇三一
第七十条 補足規定及び経過規定	一〇三二
第七十一条 この協定の正文	一〇三三
末 文	一〇三三
付表一 加盟輸入国に対する輸出量が四十万袋未満である加盟輸出国	一〇三四
付表二 票の配分	一〇三五

千九百七十六年の国際コーヒー協定

前文

この協定の締約国政府は、輸出収入を得るために、ひいては、社会的及び経済的分野における開発計画を継続するためにコーヒーに大きく依存している多数の国の経済にとつて、この商品が特に重要であることを認め、

コーヒーの貿易に関する緊密な国際協力が、コーヒー生産国の経済の多角化及び発展を助長し、生産国と消費国との間の政治的及び経済的関係を改善し並びにコーヒーの消費の増大に資することを考慮し、

生産者及び消費者の双方の利益を損なう著しい価格変動を引き起こすことがある生産と消費との間の不均衡を避けることが望ましいことを認め、

国際的措置が、そのような不均衡のもたらす結果を是正することに役立つことができると及び採算のとれる価格を通じて生産者のために十分な水準の収入を確保することに寄与することができるとを確信し、

千九百六十二年及び千九百六十八年の国際コーヒー協定の実施を通じてもたらされた国際協力から得られた利益に留意して、次のとおり協定した。

第一章 目的

一九七六年のコーヒー協定

INTERNATIONAL COFFEE AGREEMENT 1976

Preamble

The Governments Party to this Agreement,

Recognising the exceptional importance of coffee to the economies of many countries which are largely dependent upon this commodity for their export earnings and thus for the continuation of their development programmes in the social and economic fields;

Considering that close international cooperation on trade in coffee will foster the economic diversification and development of coffee-producing countries, will improve the political and economic relations between producers and consumers and will provide for increasing consumption of coffee;

Recognising the desirability of avoiding disequilibrium between production and consumption which can give rise to pronounced fluctuations in prices harmful both to producers and to consumers;

Believing that international measures can assist in correcting the effects of such disequilibrium, as well as help to ensure an adequate level of earnings to producers through remunerative prices;

Noting the advantages derived from the international cooperation which resulted from the operation of the International Coffee Agreements 1962 and 1968;

Have agreed as follows:

CHAPTER I - OBJECTIVES

目的

第一条 目的

この協定の目的は、次のとおりとする。

- (1) 消費者のために公正な価格で十分なコーヒーの供給を確保し及び生産者のために採算のとれる価格でコーヒーの市場を確保するように、並びに生産と消費との間の長期的均衡を可能にするように、世界のコーヒーの供給と需要との間の適切な均衡を達成すること。
- (2) 生産者及び消費者の双方の利益を損なう世界のコーヒーの供給、在庫及び価格の過度の変動を避けること。
- (3) 加盟国において、生産資源の開発並びに雇用及び所得の増加及び維持に寄与し、それにより、公正な賃金、一層高い生活水準及び一層良い労働条件の実現に資すること。
- (4) 価格を(1)の規定に適合する水準に維持し及び消費を増大させることによつて、コーヒー輸出国の購買力を増大させること。
- (5) あらゆる可能な方法により、コーヒーの消費を振興し及び増大させること。
- (6) コーヒーの貿易と工業製品の市場の経済的安定性との関係を認識して、一般的に、世界のコーヒー問題に関して国際協力を促進すること。

第二条 加盟国による一般的約束

- (1) 加盟国は、前条に定める目的が達成されるようにその通商政策を運用することを約束する。加盟国は、更に、この協定及びこれに基づく義務を完全に履行することによりその目的を達成することを約束する。

加盟国による一般的約束

Article 1

Objectives

The objectives of this Agreement are:

- (1) to achieve a reasonable balance between world supply and demand on a basis which will assure adequate supplies of coffee at fair prices to consumers and markets for coffee at remunerative prices to producers and which will be conducive to long-term equilibrium between production and consumption;
- (2) to avoid excessive fluctuations in the levels of world supplies, stocks and prices which are harmful to both producers and consumers;
- (3) to contribute to the development of productive resources and to the promotion and maintenance of employment and income in Member countries, thereby helping to bring about fair wages, higher living standards and better working conditions;
- (4) to increase the purchasing power of coffee-exporting countries by keeping prices in accordance with the provisions of paragraph (1) of this Article and by increasing consumption;
- (5) to promote and increase the consumption of coffee by every possible means; and
- (6) in general, in recognition of the relationship of the trade in coffee to the economic stability of markets for industrial products, to further international cooperation in connection with world coffee problems.

Article 2

General Undertakings by Members

- (1) Members undertake to conduct their trade policy in such a way that the objectives set out in Article 1 may be attained. They further undertake to achieve these objectives by strict observance of the obligations and provisions of this Agreement.



(2) 加盟国は、消費の望ましい増大を妨げないコーヒーの価格を消費者のために確保するよう努めつつ生産者のために十分な採算が確保される水準に価格を維持する政策を採用する必要があることを認める。

(3) 加盟輸出国は、加盟輸入国に対し当該時点において提供する条件に比し、通常の貿易慣行に照らして商業的に一層有利な条件で、非加盟国へのコーヒーの販売が行われることを可能にするようないかなる措置をも採用せず又は維持しないことを約束する。

(4) 理事会は、定期的に(3)の規定の遵守の状況を検討するものとし、第五十三条の規定に従つて適当な情報を提供すること加盟国に要求することができる。

(5) 加盟国は、原産地証明書がコーヒーの貿易に関する不可欠な情報源であることを認める。輸出割当てが停止されている期間中、原産地証明書の適切な使用を確保する責任は、加盟輸出国が負う。もつとも、加盟輸入国は、輸出割当てが実施されていないときはコーヒーの貨物が証明書を伴うことを要求する義務はないが、最大量の情報がすべての加盟国にとつて利用可能となることを確保するため、加盟輸出国から積み出されたコーヒーの貨物に関連する証明書の収集及び確認について機関と十分に協力する。

## 第二章 定義

### 第三条 定義

この協定の適用上、

(1) 「コーヒー」とは、コーヒー樹の豆及び実(バーチメント・コーヒーであるか、生コーヒーであるか、いりコーヒーであ

一九七六年のコーヒー協定

(2) Members recognise the need to adopt policies which will maintain prices at levels which will ensure adequate remuneration to producers and seek to ensure that prices of coffee to consumers will not hamper a desirable increase in consumption.

(3) Exporting Members undertake not to adopt or maintain any governmental measures which would permit the sale of coffee to non-members on terms commercially more favourable than those which they are prepared to offer at the same time to importing Members, taking into account normal trade practices.

(4) The Council shall review periodically compliance with the provisions of paragraph (3) of this Article and may require Members to supply appropriate information in accordance with the provisions of Article 53.

(5) Members recognise that certificates of origin are a vital source of information on the trade in coffee. During periods when quotas are suspended, the responsibility for ensuring the proper use of Certificates of Origin rests with exporting Members. However, importing Members, while under no obligation to demand that Certificates accompany consignments of coffee when quotas are not in effect, shall cooperate fully with the Organization in the collection and verification of certificates relating to shipments of coffee received from exporting Member countries in order to ensure that the maximum information is available to all Members.

## CHAPTER II - DEFINITIONS

### Article 3

#### Definitions

For the purposes of this Agreement:

(1) "Coffee" means the beans and cherries of the coffee tree, whether parchment, green or roasted, and includes ground, decaffeinated, liquid and soluble coffee. These terms shall have the following meaning:

るかを問わない。)をいい、ひきコーヒー、カフェイン抜きコーヒー、液状コーヒー及び可溶性コーヒーを含む。これらの語は、次の意味を有する。

- (a) 「生コーヒー」とは、いる前の裸豆の状態におけるすべてのコーヒーをいう。
- (b) 「乾燥したコーヒーの実」とは、コーヒー樹の乾燥した果実をいう。乾燥したコーヒーの実の生コーヒー相当重量を得るためには、乾燥したコーヒーの実の正味重量を〇・五倍するものとする。
- (c) 「バーチメント・コーヒー」とは、バーチメント皮に包まれた生のコーヒー豆をいう。バーチメント・コーヒーの生コーヒー相当重量を得るためには、バーチメント・コーヒーの正味重量を〇・八倍するものとする。
- (d) 「いりコーヒー」とは、生コーヒーを何らかの程度までいつたものをいい、ひきコーヒーを含む。いりコーヒーの生コーヒー相当重量を得るためには、いりコーヒーの正味重量を一・一九倍するものとする。
- (e) 「カフェイン抜きコーヒー」とは、生コーヒー、いりコーヒー又は可溶性コーヒーでカフェインを除去したものをいう。カフェイン抜きコーヒーの生コーヒー相当重量を得るためには、生コーヒー、いりコーヒー又は可溶性コーヒーの正味重量をそれぞれ一倍、一・一九倍又は三倍(注)するものとする。
- (f) 「液状コーヒー」とは、いりコーヒーから得た水溶性の固形成分を液状にしたものをいう。液状コーヒーの生コーヒー相当重量を得るためには、液状コーヒーに含有されるコーヒーの固形成分の乾燥状態における正味重量を三倍(注)するものとする。

- (4) "green coffee" means all coffee in the naked bean form before roasting;
- (5) "dried coffee cherry" means the dried fruit of the coffee tree; to find the equivalent of dried coffee cherry to green coffee, multiply the net weight of the dried coffee cherry by 0.50;
- (6) "parchment coffee" means the green coffee bean contained in the parchment skin; to find the equivalent of parchment coffee to green coffee, multiply the net weight of the parchment coffee by 0.80;
- (7) "roasted coffee" means green coffee roasted to any degree and includes ground coffee; to find the equivalent of roasted coffee to green coffee, multiply the net weight of roasted coffee by 1.19;
- (8) "decaffeinated coffee" means green, roasted or soluble coffee from which caffeine has been extracted; to find the equivalent of decaffeinated coffee to green coffee, multiply the net weight of the decaffeinated coffee in green, roasted or soluble form by 1.00, 1.19 or 3.00<sup>1/2</sup> respectively;
- (9) "liquid coffee" means the water-soluble solids derived from roasted coffee and put into liquid form; to find the equivalent of liquid to green coffee, multiply the net weight of the dried coffee solids contained in the liquid coffee by 3.00<sup>1/2</sup>;
- (10) "soluble coffee" means the dried water-soluble solids derived from roasted coffee; to find the equivalent of soluble coffee to green coffee, multiply the net weight of the soluble coffee by 3.00<sup>1/2</sup>;
- (11) "Bag" means 60 kilograms or 132.276 pounds of green coffee; "tonne" means a metric tonne of 1,000 kilograms or 2,204.6 pounds; and "pound" means 453.597 grammes.
- (12) "Coffee year" means the period of one year, from 1 October through 30 September.
- (13) "Organization", "Council" and "Board" mean, respectively, the International Coffee Organization, the International Coffee Council and the Executive Board.

(g) 「可溶性コーヒー」とは、いりコーヒーから得た乾燥した水溶性の固形成分をいう。可溶性コーヒーの生コーヒー相当重量を得るためには、可溶性コーヒーの正味重量を三倍（注）するものとする。

注 理事会は、権威のある国際的機関が行う決定に照らし、三倍の換算率を再検討するものとし、及びこれを修正することができる。

(2) 「袋」とは、生コーヒーで六十キログラム又は百三十二・二七六ポンドをい、「トン」とは、千キログラムのメートル・トン又は二千二百四・六ポンドをい、また、「ポンド」とは、四百五十三・五九七グラムをいう。

(3) 「コーヒー年度」とは、十月一日から九月三十日までの一年の期間をいう。

(4) 「機関」「理事会」及び「執行委員会」とは、それぞれ、国際コーヒー機関、国際コーヒー理事会及び国際コーヒー機関の執行委員会をいう。

(5) 「加盟国」とは、締約国政府（次条(3)に規定する政府間機関を含む）、第五条の規定に基づき本土地域と分離して加盟国であると宣言された指定領域又は第六条若しくは第七条の規定に基づき加盟集団として機関に加盟する二以上の締約国政府若しくは指定領域若しくはその双方をいう。

(6) 「加盟輸出国」又は「輸出国」とは、それぞれ、コーヒーの純輸出者である加盟国又は国、すなわち、コーヒーの輸出量がその輸入量を上回る加盟国又は国をいう。

(7) 「加盟輸入国」又は「輸入国」とは、それぞれ、コーヒーの純輸入者である加盟国又は国、すなわち、コーヒーの輸入量がその輸出量を上回る加盟国又は国をいう。

(5) "Member" means a Contracting Party, including an inter-governmental organization referred to in paragraph (3) of Article 4; a designated territory or territories in respect of which separate Membership has been declared under the provisions of Article 5; or two or more Contracting Parties or designated territories, or both, which participate in the Organization as a Member Group under the provisions of Articles 6 or 7.

1/ The conversion factor of 3.00 shall be reviewed and may be revised by the Council in the light of decisions taken by recognised international authorities.

(6) "Exporting Member" or "exporting country" means a Member or country, respectively, which is a net exporter of coffee; that is, a Member or country whose exports exceed its imports.

(7) "Importing Member" or "importing country" means a Member or country, respectively, which is a net importer of coffee; that is, a Member or country whose imports exceed its exports.

(8) "Producing Member" or "producing country" means a Member or country, respectively, which grows coffee in commercially significant quantities.

(9) "Distributed simple majority vote" means a majority of the votes cast by exporting Members present and voting and a majority of the votes cast by importing Members present and voting, counted separately.

(10) "Distributed two-thirds majority vote" means a two-thirds majority of the votes cast by exporting Members present and voting and a two-thirds majority of the votes cast by importing Members present and voting, counted separately.

(11) "Entry into force" means, except as otherwise provided, the date on which this Agreement enters into force, whether provisionally or definitively.

(12) "Exportable production" means the total production of coffee of an exporting country in a given coffee or crop year, less the amount destined for domestic consumption in the same year.

(13) "Availability for export" means the exportable production of an exporting country in a given coffee year, plus accumulated stocks from previous years.

- (8) 「加盟生産国」又は「生産国」とは、それぞれ、商業的に見て相当な数量のコーヒーを栽培する加盟国又は国をいう。
- (9) 「区分ごとの単純過半数票」とは、出席しかつ投票する加盟輸出国が投ずる票の過半数及び出席しかつ投票する加盟輸入国が投ずる票の過半数（それぞれ別個に計算する。）をいう。
- (10) 「区分ごとの三分の二以上の多数票」とは、出席しかつ投票する加盟輸出国が投ずる票の三分の二以上の多数及び出席しかつ投票する加盟輸入国が投ずる票の三分の二以上の多数（それぞれ別個に計算する。）をいう。
- (11) 「効力発生の日」とは、別段の定めがある場合を除くほか、この協定の効力発生（暫定的なものであるか確定的なものであるかを問わない。）の日をいう。
- (12) 「輸出可能生産量」とは、当該コーヒー年度又は当該収穫年度における当該輸出国のコーヒーの総生産量から当該年度において国内消費に充てられる数量を差し引いた数量をいう。
- (13) 「輸出可能数量」とは、当該コーヒー年度における当該輸出国の輸出可能生産量に過去の年度を通じて累積した在庫量を加えた数量をいう。
- (14) 「輸出権利数量」とは、当該加盟国がこの協定に基づき輸出することを承認されるコーヒーの数量の合計をいい、第四十四条の規定に基づき輸出割当使用分に算入されない輸出货量を含まない。
- (15) 「輸出割当での不使用分」とは、当該コーヒー年度における当該加盟輸出国の年間輸出権利数量と当該コーヒー年度において当該加盟輸出国が輸出割当での対象となる市場に輸出したコーヒーの数量との差をいう。

(14) "Export entitlement" means the total quantity of coffee which a member is authorized to export under the various provisions of this Agreement, but excluding exports which under the provisions of Article 44 are not charged to quotas.

(15) "Shortfall" means the difference between the annual export entitlement of an exporting member in a given coffee year and the amount of coffee which that member has exported to quota markets in that coffee year.

## 第四条 機関の加盟国

- (1) 各締約国政府は、次条から第七条までに別段の定めがある場合を除くほか、第六十四条(1)の規定に基づいてこの協定の適用を受ける領域と合同して、機関の単一の加盟国となる。
- (2) 加盟国は、理事会が同意する条件に従つて加盟輸出国又は加盟輸入国としての区分を変更することができる。
- (3) この協定において、「政府」というときは、欧州経済共同体又は国際協定、特に商品協定の交渉、締結及び適用についてこれと同等の責任を有するその他の政府間機関を含む。
- (4) (3)の政府間機関は、それ自体の票を有しないが、その権限内の事項に関して表決が行われる場合には、その政府間機関の構成国の票を一括して投ずる権利を有する。この権利が行使される場合には、その政府間機関の構成国は、各自の投票権を行使することができる。
- (5) 第十六条(1)の規定は、(3)の政府間機関については適用しないが、その権限内の事項に関しては、その政府間機関は、執行委員会の討議に参加することができる。その権限内の事項に関して表決が行われる場合には、第十九条(1)の規定にかかわらず、その政府間機関のいずれかの構成国は、執行委員会においてその政府間機関の構成国が投ずる権利を有する票を一括して投ずることができる。

## 第五条 指定領域と分離してする加盟

コーヒーの純輸入者である締約国政府は、いつでも、第六十条四(2)の規定に従つて通告を行うことにより、自国が国際関係について責任を負う領域のうちコーヒーの純輸出者で自国が指

一九七六年のコーヒー協定

## Article 4

### Membership in the Organisation

- (1) Each Contracting Party, together with those territories to which this Agreement is extended under the provisions of paragraph (1) of Article 64, shall constitute a single member of the Organization, except as otherwise provided for under the provisions of Articles 5, 6 and 7.
- (2) A member may change its category of membership on such conditions as the Council may agree.
- (3) Any reference in this Agreement to a Government shall be construed as including a reference to the European Economic Community, or any intergovernmental organization having comparable responsibilities in respect of the negotiation, conclusion and application of international agreements, in particular commodity agreements.
- (4) Such intergovernmental organization shall not itself have any votes but in the case of a vote on matters within its competence it shall be entitled to cast collectively the votes of its member States. In such cases, the member States of such intergovernmental organization shall not be entitled to exercise their individual voting rights.
- (5) The provisions of paragraph (1) of Article 16 shall not apply to such intergovernmental organization but it may participate in the discussions of the Executive Board on matters within its competence. In the case of a vote on matters within its competence, and notwithstanding the provisions of paragraph (1) of Article 19, the votes which its member States are entitled to cast in the Executive Board may be cast collectively by any one of those member States.

## Article 5

### Separate Membership in Respect of Designated Territories

Any Contracting Party which is a net importer of coffee may, at any time, by appropriate notification in accordance with the provisions of paragraph (2) of Article 64, declare that it is

定するものと分離して機関に加盟することを宣言することができ。この場合において、本土地域は、指定されなかつた領域と合同して単一の加盟国となり、指定領域は、当該通告中に示すところに従つて個別に又は集団として、本土地域と分離して加盟国となる。

## 第六条 機関に加盟する際に形成する加盟集団

(1) コーヒーの純輸出者である二以上の締約国政府は、それぞれの批准書、受諾書、承認書又は加入書の寄託の際に、理事会及び国際連合事務総長に対する通告により、加盟集団として機関に参加することを宣言することができる。第六十四条(1)の規定に基づいてこの協定の適用を受ける領域は、その国際関係について責任を有する国の政府が同条(2)の規定に従つて通告を行った場合には、加盟集団の一部となることができ。これらの締約国政府及び指定領域は、次の条件を満たすものでなければならぬ。

- (a) 集団の義務についての責任を個別に及び集団として受諾する意思を宣言すること。
- (b) 更に、
  - (i) 当該加盟集団が共通のコーヒー政策を遂行するために必要な機構を有すること及び当該加盟集団の他の構成員とともにこの協定に基づく義務を履行する手段を有すること
  - (ii) 当該締約国政府及び指定領域が、従前のいずれかの国際コーヒー協定において加盟集団として認められていたこと又は

participating in the Organization separately with respect to any of the territories for whose international relations it is responsible, which are net exporters of coffee and which it designates. In such case, the metropolitan territory and its non-designated territories will have a single Membership, and its designated territories, either individually or collectively as the notification indicates, will have separate Membership.

### Article 6

#### Group Membership upon Joining the Organization

(1) Two or more Contracting Parties which are net exporters of coffee may, by appropriate notification to the Council and to the Secretary-General of the United Nations at the time of deposit of their respective instruments of approval, ratification, acceptance or accession, declare that they are joining the Organization as a Member group. A territory to which this Agreement has been extended under the provisions of paragraph (1) of Article 64 may constitute part of such Member group if the Government of the State responsible for its international relations has given appropriate notification thereof under the provisions of paragraph (2) of Article 64. Such Contracting Parties and designated territories must satisfy the following conditions:

- (a) they shall declare their willingness to accept responsibility for group obligations in an individual as well as a group capacity;
- (b) they shall subsequently provide satisfactory evidence to the Council that:
  - (i) the group has the organization necessary to implement a common coffee policy and that they have the means of complying, together with the other parties to the group, with their obligations under this Agreement; and that either
  - (ii) they have been recognized as a group in a previous international coffee agreement; or
  - (iii) they have a common or coordinated commercial and economic policy in relation to coffee and a coordinated monetary and financial policy, as well as the organs necessary to implement such policies, so

- (iii) 当該締約国政府及び指定領域が、当該加盟集団が集団的加盟に伴う集団の義務を履行することができる旨の保証を理事会に与えるように、コピーーに関する共通の若しくは調整された商業、上及び経済上の政策、通貨及び財政に関する調整された政策並びにこれらの政策を遂行するために必要な組織を有すること。
- (2) について十分な証拠を理事会に提出すること。
- (2) 加盟集団は、機関の単一の加盟国となる。ただし、加盟集団の各構成員は、次の規定から生ずる事項に関しては、それぞれ単一の加盟国として取り扱う。
- (a) 次章第十一条、第十二条及び第二十条の規定
- (b) 第八章第五十条及び第五十一条の規定
- (c) 第十章第六十七条の規定
- (3) 加盟集団として加盟する締約国政府及び指定領域は、この協定の規定(2)に掲げるものを除く。から生ずる事項に關して理事会においてそれらを代表する政府又は機構を特定する。
- (4) 加盟集団の投票権は、次のとおりとする。
- (a) 加盟集団は、個別に機関に加盟する単一の加盟国の基本票と同数の基本票を有する。この基本票は、当該加盟集団を代表する政府又は機構に属し、当該政府又は機構が投ずる。
- (b) (2)に掲げる規定から生ずる事項について投票が行われる場合には、加盟集団の各構成員は、第十三条(3)及び(4)の規定に基づいて自己に属する票を、各構成員が個別の加盟国である場合と同様に、個別に投ずることができる。ただし、基本票は、当該加盟集団を代表する政府又は機構にのみ属する。

- that the Council is satisfied that the Member Group is able to comply with the group obligations involved.
- (2) The Member Group shall constitute a single Member of the Organization, except that each party to the Group shall be treated as if it were a single Member in relation to matters arising under the following provisions:
- (a) Articles 11, 12 and 20 of Chapter IV;
- (b) Articles 50 and 51 of Chapter VIII; and
- (c) Article 67 of Chapter X.
- (3) The Contracting Parties and designated territories joining as a Member Group shall specify the Government or organization which will represent them in the Council on matters arising under this Agreement other than those specified in paragraph (2) of this Article.
- (4) The voting rights of the Member Group shall be as follows:
- (a) The Member Group shall have the same number of basic votes as a single Member country joining the Organization in an individual capacity. These basic votes shall be attributed to and cast by the Government or organization representing the Group; and
- (b) In the event of a vote on any matters arising under the provisions of paragraph (2) of this Article, the parties to the Member Group may cast separately the votes attributed to them under the provisions of paragraphs (3) and (4) of Article 13 as if each were an individual Member of the Organization, except for the basic votes, which shall remain attributable only to the Government or organization representing the Group.
- (5) Any Contracting Party or designated territory which is a party to a Member Group may, by notification to the Council, withdraw from that group and become a separate Member. Such withdrawal shall take effect upon receipt of the notification by the Council. If a party to a Member Group withdraws from that group or ceases to participate in the Organization, the remaining parties to the group may apply to the Council to maintain the group; the group shall continue to exist unless the Council disapproves the

一九七六年のコーヒー協定

九八四

(5) 加盟集団の構成員である締約国政府又は指定領域は、理事会に對する通告によつて、加盟集団から脱退し、別個の加盟国となることができる。その脱退は、理事会がその通告を受領した時に効力を生ずる。いずれかの構成員が加盟集団から脱退した場合又は機関への参加を終止した場合には、当該加盟集団の残余の構成員は、当該加盟集団を維持することを理事会に申請することができる。当該加盟集団は、理事会がその申請を却下しない限り、存続する。加盟集団が解散した場合には、その従来、各構成員は、個別の加盟国となる。加盟集団の構成員でなくなつた加盟国は、この協定の有効期間中再びいずれの加盟集団の構成員となることもできない。

#### 第七条 機関に加盟した後形成する加盟集団

二以上の加盟輸出国は、この協定の効力発生の日以後いつても、加盟集団を形成することを理事会に申請することができる。理事会は、それらの加盟輸出国が前条(1)に規定するところに從つて宣言を行い及び証拠を提出したと認定する場合には、その申請を承認する。その承認があつたときは、当該加盟集団は、同条(2)から(5)までの規定の適用を受ける。

#### 第四章 組織及び運用

#### 第八条 国際コーヒー機関の所在地及び構成

(1) 千九百六十二年の国際コーヒー協定に基づいて設立された国際コーヒー機関は、この協定を運用し、かつ、この協定の実施を監督するため、存続する。

application. If the Member group is dissolved, each former party to the group will become a separate member. A member which has ceased to be a party to a group may not, as long as this Agreement remains in force, again become a party to a group.

#### Article 7

##### Subsequent Group Membership

Two or more exporting Members may, at any time after this Agreement has entered into force, apply to the Council to form a member group. The Council shall approve the application if it finds that the Members have made a declaration and have provided satisfactory evidence in accordance with the requirements of paragraph (1) of Article 6. Upon such approval, the member group shall be subject to the provisions of paragraphs (2), (3), (4) and (5) of that Article.

#### CHAPTER IV - ORGANIZATION AND ADMINISTRATION

#### Article 8

##### Seat and Structure of the International Coffee Organization

(1) The International Coffee Organization established under the 1962 Agreement shall continue in being to administer the provisions and supervise the operation of this Agreement.

機関に加盟した後に形成する加盟集団

国際コーヒー機関の所在地及び構成



- (2) 機関の所在地は、理事会が区分ごとの三分の二以上の多数票による議決で別段の決定を行わない限り、ロンドンとする。
- (3) 機関は、国際コーヒー理事会、執行委員会、事務局長及び職員によつてその機能を営む。

#### 第九条 国際コーヒー理事会の構成

- (1) 機関の最高機関は、国際コーヒー理事会とし、理事会は、機関のすべての加盟国で構成する。
- (2) 各加盟国は、理事会における一人の代表及び、希望する場合合には、一人又は二人以上の代表代理を任命する。各加盟国は、また、その代表又は代表代理の顧問を指名することができる。

#### 第十条 理事会の権限及び任務

- (1) この協定によつて明示的に与えられるすべての権限は、理事会に属する。理事会は、この協定を実施するために必要な権限及び任務を有し及び遂行する。
- (2) 理事会は、区分ごとの三分の二以上の多数票による議決で、この協定を実施するために必要な規則でこの協定に適合するもの（理事会の手続規則並びに機関の会計及び職員に関する規則を含む。）を定める。理事会は、その手続規則中に、適合することなしに特定の問題について決定を行うための方法を定めることができる。
- (3) 理事会は、また、この協定に基づく任務を遂行するために必要な記録及び望ましいと認めるその他の記録を保管する。

一九七六年のコーヒー協定

- (2) The seat of the Organisation shall be in London unless the Council by a distributed two-thirds majority vote decides otherwise.
- (3) The Organisation shall function through the International Coffee Council, the Executive Board, the Executive Director and the staff.

#### Article 9

##### Composition of the International Coffee Council

- (1) The highest authority of the Organisation shall be the International Coffee Council, which shall consist of all the Members of the Organisation.
- (2) Each Member shall appoint one representative on the Council and, if it so desires, one or more alternates. A Member may also designate one or more advisers to its representative or alternates.

#### Article 10

##### Powers and Functions of the Council

- (1) All powers specifically conferred by this Agreement shall be vested in the Council, which shall have the powers and perform the functions necessary to carry out the provisions of this Agreement.
- (2) The Council shall, by a distributed two-thirds majority vote, establish such rules and regulations, including its own rules of procedure and the financial and staff regulations of the Organisation, as are necessary to carry out the provisions of this Agreement and are consistent therewith. The Council may, in its rules of procedure, provide the means whereby it may, without meeting, decide specific questions.
- (3) The Council shall also keep such records as are required to perform its functions under this Agreement and such other records as it considers desirable.

第十一條 理事会の議長及び副議長の選挙

理事会の  
議長及び  
副議長の  
選挙

- (1) 理事会は、各コーヒー年度ごとに、議長一人並びに第一副議長、第二副議長及び第三副議長各一人を選挙する。
- (2) 原則として、議長及び第一副議長は、加盟輸出国及び加盟輸入国の区分のうちいずれか一方の区分に属する加盟国の代表の中から選挙し、第二副議長及び第三副議長は、他方の区分に属する加盟国の代表の中から選挙する。これらの職は、各コーヒー年度ごとに、両区分の加盟国に交互に振り当てらる。
- (3) 議長及び議長を代行している副議長は、投票権を有しない。この場合には、代表代理が自国の投票権を行使する。

第十二條 理事会の会期

理事会の  
会期

理事会は、原則として年二回、通常会期を開催する。理事会は、その決定により、特別会期を開催することができる。特別会期は、また、執行委員会、五の加盟国又は少なくとも二百票を有する一若しくは二以上の加盟国の要請によつて開催される。会期の通知は、緊急の場合を除くほか、少なくとも三十日前に行う。会期は、理事会が別段の決定を行わない限り、機関の所在地において開催する。

第十三條 票数

票  
数

- (1) 加盟輸出国は総体として千票を有し、加盟輸入国は総体として千票を有する。これらの各千票は、(2)から(9)までの規定に従つて、加盟輸出国及び加盟輸入国の各区分内でそれぞれ

Article 11  
Election of the Chairman and Vice-Chairmen of the Council

- (1) The Council shall elect, for each coffee year, a Chairman and a first, a second and a third Vice-Chairman.
- (2) As a general rule, the Chairman and the first Vice-Chairman shall both be elected either from among the representatives of exporting Members or from among the representatives of importing Members and the second and the third Vice-Chairman shall be elected from among representatives of the other category of Member. These offices shall alternate each coffee year between the two categories of Member.
- (3) Neither the Chairman nor any Vice-Chairman acting as Chairman shall have the right to vote. His alternate will in such case exercise the voting rights of the Member.

Article 12  
Sessions of the Council

As a general rule, the Council shall hold regular sessions twice a year. It may hold special sessions should it so decide. Special sessions shall also be held at the request of the Executive Board, of any five Members, or of a Member or Members having at least 200 votes. Notice of sessions shall be given at least thirty days in advance except in cases of emergency. Sessions shall be held at the seat of the Organization, unless the Council decides otherwise.

Article 13  
Votes

- (1) The exporting Members shall together hold 1,000 votes and the importing Members shall together hold 1,000 votes, distributed within each category of Member - that is, exporting and importing Members, respectively - as provided for in the following paragraphs of this Article.

配分する。

(2) 各加盟国は、五の基本票を有する。ただし、加盟国の各区分内の基本票の数が合計して百五十を超えないことを条件とする。加盟輸出国の数が三十を超える場合又は加盟輸入国の数が三十を超える場合には、当該区分内の各加盟国の基本票の数は、各区分内の基本票の数が合計して百五十以下となるように調整する。

(3) 付表一に掲げる加盟輸出国であつて十万袋以上四十万袋未満の当初の年間輸出割当てを有するものは、基本票に加えて、付表一(2)欄に掲げる票数を有する。この(3)に規定する加盟輸出国が第三十一条(5)の規定に基づいて基本輸出割当てを受けることを選択する場合には、この(3)の規定は、その加盟輸出国に適用しないものとする。

(4) 加盟輸出国の残余の票は、第三十二条の規定に従うことを条件として、基本輸出割当てを有する加盟輸出国の間で、千九百六十八ー千九百六十九コーヒー年度から千九百七十一ー千九百七十二コーヒー年度までの間における各国の加盟輸入国へのコーヒーの輸出の平均数量に比例して配分する。この配分方法は、千九百七十七年十二月三十一日まで、関係加盟輸出国の票数を算定するための基礎とする。千九百七十八年一月一日以後、基本輸出割当てを有する加盟輸出国の残余の票数は、次に掲げる年度における各国の加盟輸入国へのコーヒーの輸出の平均数量に比例して算定する。

一九七八年一月一日以後      コーヒー年度  
一九六九ー一九七〇年度か  
ら一九七一ー一九七二年度  
まで及び一九七六ー一九七  
七年度

一九七六年のコーヒー協定

(2) Each Member shall have five basic votes, provided that the total number of basic votes within each category of Member does not exceed 150. Should there be more than thirty exporting Members or more than thirty importing Members, the number of basic votes for each Member within that category of Member shall be adjusted so as to keep the number of basic votes for each category of Member within the maximum of 150.

(3) Exporting Members listed in Annex 1 as having an initial annual export quota of 100,000 bags of coffee or more but less than 400,000 bags shall, in addition to the basic votes, have the number of votes attributed to them in column 2 of Annex 1. If any exporting Member referred to in this paragraph elects to have a basic quota under the provisions of paragraph (5) of Article 31, the provisions of this paragraph shall cease to apply to it.

(4) Subject to the provisions of Article 32, the remaining votes of exporting Members shall be divided among those Members having a basic quota in proportion to the average volume of their respective exports of coffee to importing Members in coffee years 1968/69 to 1971/72 inclusive. This will constitute the basis of voting for the exporting Members concerned until 31 December 1977. With effect from 1 January 1978 the remaining votes of exporting Members having a basic quota shall be calculated in proportion to the average volume of their respective exports of coffee to importing Members as follows:

With effect from 1 January		Coffee Years
1978	1969/70, 1970/71, 1971/72, 1976/77	
1979	1970/71, 1971/72, 1976/77, 1977/78	
1980	1971/72, 1976/77, 1977/78, 1978/79	
1981	1976/77, 1977/78, 1978/79, 1979/80	
1982	1977/78, 1978/79, 1979/80, 1980/81	

(5) The remaining votes of importing Members shall be divided among those Members in proportion to the average volume of their respective coffee imports in the preceding three calendar years.

(6) The distribution of votes shall be determined by the Council in accordance with the provisions of this Article at the beginning of each coffee year and shall remain in effect during that year, except as provided for in paragraphs (4) and (7) of this Article.

- 一九七九年一月一日以後
- 一九七〇—一九七一年度、  
一九七一—一九七二年度、  
一九七六—一九七七年度及  
一九七七—一九七八年度  
一九七一—一九七二年度及  
一九七六—一九七七年度  
から一九七八—一九七九  
年度まで
- 一九八一年一月一日以後
- 一九七六—一九七七年度か  
ら一九七九—一九八〇年度  
まで
- 一九八二年一月一日以後
- 一九七七—一九七八年度か  
ら一九八〇—一九八一年度  
まで
- (5) 加盟輸入国の残余の票は、加盟輸入国の間で、直前の三暦年間に於ける各国のコーヒーの輸入の平均数量に比例して配分する。
- (6) 票の配分は、理事会が各コーヒー年度の当初にこの条の規定に従つて決定するものとし、(4)及び(7)に規定する場合を除くほか、当該年度中効力を有する。
- (7) 機関の加盟国に変動がある場合又は加盟国の投票権が第二十六條、第四十二條、第四十五條若しくは第五十八條の規定に従つて停止され若しくは回復される場合にはいつでも、理事会は、この条の規定に従い票の再配分の措置をとる。
- (8) いかなる加盟国も、四百を超える票を有しない。
- (9) 票数は、一未満の数を伴つてはならない。

(7) The Council shall provide for the redistribution of votes in accordance with the provisions of this Article whenever there is a change in the Membership of the Organization, or if the voting rights of a Member are suspended or regained under the provisions of Articles 26, 42, 45 or 58.

(8) No Member shall hold more than 400 votes.

(9) There shall be no fractional votes.